

看護いばらき



No.91
2010年11月1日



高萩市 花貴溪谷

CONTENTS

- | | |
|-------------------------------|---|
| ■平成 22 年度 地区懇談会 P.2 ～ 3 | ■そよかぜ：私の専門～認定看護師～
新生児集中ケア・がん性疼痛看護..... P.7 |
| ■茨城県・北茨城市総合防災訓練報告..... p.4 | ■私の職場..... P.8 |
| ■教育委員会の活動..... P.5 | ■リフレッシュ..... P.9 |
| ■ザ・シリーズ 地域連携～訪問看護～ P.6 | ■看護協会からのお知らせ..... P.10 |

平成 22 年度 地 区 懇 談 会 開 催

水戸・ひたちなか、日立・常陸大宮地区

平成 22 年 9 月 9 日（木）茨城県看護研修センター

水戸・ひたちなか地区理事 原田 良子

今年度で第 3 回目となる地区懇談会が、看護研修センターで開催されました。

各施設の現状・問題点・協会への要望を事前に提出いただいた中で、昨年に比べ離職率は減少しているが、7:1 が取得できない。看護師不足で看護業務改善が進まないなどの意見があり、県北の看護師不足の厳しい現状が上げられました。

理事の方からの情報提供として、成功している施設の取り組みなどの紹介がありました。

総会だけでは、協会の取り組みなど個々の会員には伝わらないのですが、懇談会を通して有意義な意見交換ができたと思っています。



鉾田・潮来地区

平成 22 年 9 月 30 日（木）鹿嶋市まちづくり市民センター

鉾田・潮来地区理事 後藤 みよ

鉾田・潮来地区での懇談会開催にあたり、看護協会長を初め、理事や役員の方においでいただき説明を戴いたことで、看護協会事業への理解を深めることができました。

また、各会員の方々より当地区の課題・問題点及び協会への要望、意見等を事前に提出頂き、その中から看護職不足問題、研修のあり方、地域看護活動、会員増加対策等につき現状と課題について意見交換を行った。

会長さんをはじめ、各理事の方々からの情報や、建設的な意見を頂き、問題解決の糸口が見えてきた貴重な時間でした。

遠路、当地区までお越し頂いた協会の方々、沢山の意見等を提出頂いた会員の方々に感謝申し上げます。



龍ヶ崎、土浦、つくば・常総地区

平成 22 年 10 月 7 日 (木) イーアスつくば

広報委員 取手協同病院 古橋 淳子

今年度も、茨城県看護協会事業としての、地区懇談会が開催されました。村田会長からは、新人研修における予算の適切な運用についてと、人材確保は重要な問題であり、今後も看護職の定着促進に向けた取

り組みをしていく必要があると述べられました。協会からは特に、新法人移行に向けた基本的な考え方についての説明がありました。また、懇談会の中では、



新人教育のメンタルヘルスケアについてと、精神病院から、一般病院への患者の受け入れ困難な現状について、そして県内への看護師定着に向けての取り組みなど、活発な意見交換の場となりました。



<理事からの声>

これまでにない、精神科病院からの意見を聞くことができ、現状が把握できて良かった。

今後も、懇談会では、より積極的な多くの意見を出して頂き、有意義な会にしていきたい。

<参加者の声>

・他の地区の現状や問題点を聞いて良かった。

・協会側と会員との意見交換ができて良かった。



筑西・古河地区

平成 22 年 10 月 14 日 (木) しもだて地域交流センターアルテリオ

筑西・古河地区理事 野口 敬子

10月14日下館交流センター（アルテリオ）で約40名の地区会員が集まり、懇談会が開催された。

会長から、協会の運営について、また日本看護協会の取り組みや、チーム医療推進、ナースセンター事業についてなどの報告が丁寧になされた。



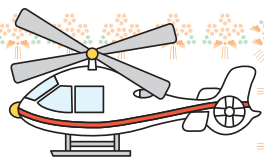
地区会員から非常に具体的でわかりやすいとの声があり、和やかな雰囲気の中、当地区の議題について話し合いが行なわれた。看護教員養成の今後の在り方や、研修の日程調整についてなど、また、新人の「研修中」明記について、進学・就職説明会のブースの使用料についてなど、活発な意見が出された。

協会側から、上記の内容については、きちんと論議し結果を出し周知したい、との決議があった。

懇談会の意義は「見える化」にあると感じている。今後も継続しておこなわれることを期待したい。

平成 22 年度

茨城県・北茨城市総合防災訓練に参加して



災害支援ナースの役割

災害看護検討委員 前田 奈穂美

8月29日(日)に北茨城市大津漁港で行われた平成22年度茨城県・北茨城市総合防災訓練に、茨城県看護協会災害看護検討委員として災害支援ナースの方々と参加してきました。連日、ニュースでは「猛暑」「熱中症」と報道されていましたが、当日はうす曇の中行われました。私は会場に向かう高速道路で、茨城県内消防本部の消防車・救急車等をたくさん見かけ、やっと大規模な訓練である事を実感し、徐々に気分が高揚してきました。会場に到着してみると、たくさんのテントが立ち並び、またボランティアの方々の参加も多く驚く事ばかりでした。

災害支援ナースの役割は、被災地の医療施設や避難場所などで十分な看護を提供できない場合の看護専門職の応援(看護マンパワー)です。今回も水戸赤十字病院 DMAT の指示を受け、赤・黄・緑にトリアージされた患者さんを各ブースで対応するという訓練をしました。その中で、先発隊とのコミュニケーション、「報・連・相」が重要であることを再認識しました。

正直なところ、私は昨年までこのような訓練が行われている事を全く知りませんでした。毎年県内のどこかで訓練は行われますので、見学だけでも参考になるとと思いますので、参加される事をお薦めします。



教育委員会の活動について

教育委員会委員長 宮内 和代

茨城県看護協会での教育委員会の役割は「看護専門職としての自律とキャリア形成」を目的とした継続研修の企画、運営です。22年度委員会として①看護職の専門性を高め、質の向上をめざした研修の企画と運営 ②研修企画、運営上の課題の抽出と対策 ③教育担当者として企画、運営のための能力を高めるという3つの目標を掲げました。

委員は10名で、年度末に次年度の年間の継続教育プログラムを立案し、毎月の定例委員会で、実施後の評価を行なっています。評価は、受講者からのアンケート結果を参考に、講義内容、研修到達度、会場の環境などをポイントにし、個人のキャリア形成につながる研修であるか、現場で活用できるものか等を検討するようにしています。基本的な考え方は、研修のねらいが受講生に伝わり、目標が達成できたか、今後どう展開していけるかを考え、次のステップにつなげることです。

10月末で、委員として運営している研修の3/4にあたる45件の研修が終了しました。

アンケートには、感想や要望が丁寧に書かれ、モチベーションが高く熱心さが伝わり、委員としてもできるだけ研修計画に反映させたいと思っています。「ステップアップした研修を望みます」との声を受け、今年度は看護実践能力に応じた段階別の研修プログラムを作成しました。特に呼吸療法、救急看護、感染看護については、基礎編と実践編にし、実践編では少人数を対象とする実技指導とし、同じ内容で数回に分けて行うようにしました。受講生のスキルアップにつながり、満足度も高くなりました。

これから次年度の研修の企画検討に入ります。受講者が何を望んでいるのか、キャリア形成を図るための積み上げ式の教育をめざしています。

私たち委員も、教育担当者としての能力向上に向けて、教育委員の役割、研修の企画・評価などについて学習し、実践現場で必要とされている専門職としての教育とはなにかを活発にディスカッションし、地道ではありますが楽しく活動しています。

受講者のアンケート内容を一部紹介します

「現場に活かせる内容だったので明日から即実践したい」「現場の悩みが解消された」委員としても嬉しくなり、ひと安心します。研修内容を現場でどのように活かしていけるか、研修成果により現場の看護実践の質がどう変わっていけるのか等が大きな課題です。

協会における集合研修と各施設で行われている院内研修との違いは、様々な施設の受講生が目的意識をもって参加し、研修受講のなかで意見交換ができ、自施設にはない広い視野をもつことができることと感じています。良い刺激にもなっていると思います。



ザ・シリーズ

地域連携～訪問看護～

— いちはら訪問看護レポート —

広報委員 菊池 洋子

今回は、いちはら訪問看護ステーションのみなさんにお話を伺いました。

○いちはら訪問看護ステーション開設の時期は？

- * 以前よりいちはら病院の継続看護として訪問看護を行っていましたが、平成8年9月に訪問看護ステーションとして開設しました。

○現在のスタッフは何人？

- * 常勤2名と非常勤2名の計4名です。

○具体的な仕事内容は？

- * 各利用者様の病状に合わせた観察と身体的ケア、医療処置等の他、精神面のケアを行うことも多くなっています。介護者の方のサポートにも力を入れています。

○利用者数は？

- * 47名の利用者様を主な担当看護師を決めて看護しています。

○印象に残った出来事は？

- * お家に蛇や害虫がいて退治しなければならなかったこと。
- * 夜間の呼び出しで霧が深く、家が分からなくなってしまったこと。
- * いつも待っていてくれ、笑顔で迎えてくれること。

○この仕事を通して感じることは？

- * 訪問看護の仕事をしながら、在宅医療について多くのことを学びましたが、その他にその土地の風習や言葉、人生の教訓など、利用者様から教えられることはたくさんあり、私達の宝物です。
- * 24時間体制での支援は大変さも伴いますが、在宅でいきいきと生活される利用者様の姿を見る喜びは大きく、私達の活力となっています。



そ よ か ぜ

私の専門 ～認定看護師～

新生児集中ケア

認定看護師として活動して
新生児集中ケア認定看護師として活動して

茨城県立こども病院

新生児病棟 平澤 明美



認定看護師として活動開始して2年半が経ちました。その間に県北地域の新生児施設が、閉鎖になり入院数が従来よりも増加しています。そのため新人や他病棟からのローテーション者を増やし、教育体制を現場の変化に合わせて見直し、実践に活かせる教育を目指している毎日です。こども達の表情や動き、バイタルサイン、なき声を聞いて、見て、「何を訴えかけているのか」「今この処置や看護が必要か」を考えながら看護しています。又、それらを他の看護師も同じように、実践できるよう関わっています。多忙な日々ですがこども達の笑顔に癒されながら頑張っています。

がん性疼痛看護

がん性疼痛認定看護師としての喜びの一瞬

茨城東病院

小堀 奈美



私は茨城東病院に勤務しています。茨城東病院には肺がんの患者さんが多くいらっしゃいます。肺がんは、がんの中でも進行が早く患者さんの苦痛にも早急な対応が必要とされます。現在、私は院内で支持・緩和チームの一員として、がんによる苦痛を訴える患者さんの支援をしています。私の専門はがん性疼痛看護ですので、疼痛が出現しているメカニズムをアセスメントし、緩和する方法を患者さんや病棟看護師、ときには医師にも提案をします。医師には疼痛の種類に応じた薬剤を提案することもあります。これは薬剤の知識を身につけた認定看護師独自の業務ですが、なかなか勇気が要ります。話し合いを重ね患者さんの苦痛が緩和して笑顔になったとき、それが認定看護師として患者さんの役に立てた喜びを心の底から実感できる一瞬です。

私の職場

～激動のなかスタッフ一丸となって～

株式会社 日立製作所 日立総合病院 産婦人科病棟

当病棟はスタッフ 29 人で、地域周産期母子医療センターとして地域に貢献していました。しかし、昨年 1 年間休止になり、消化器疾患を中心に全科の女性患者を受け入れていました。この間、多くの人に出会い支えられました。

病棟の一日は、アロマから始まります。アロマは激動の中でも私たちの心を和ませ、お互いのささやかな心配りが気持ちを奮い立たせ、頑張ることができました。

4 月に念願の産科が再開し、5 月には分娩があり、新たな出発の忘れられない日となりました。



12 月以降追加研修のお知らせ

研修項目	研 修 名	日 程	会 場
助産師職能	助産師のためのフィジカルイグザミネーション	12/4	看護研修センター
衛星通信	看護必要度評価者 院内指導者研修	12/5	
	災害医療と看護 ー基礎編ー	1/14・15	
	生活をつなぐ退院支援	2/4・5	
新人技術	感染予防 ー医療従事者のための実際ー	12/6	国立病院機構水戸医療センター
		12/7	茨城西南医療センター病院
		12/14	小山記念病院
		1/7	筑波大学附属病院
		1/12	㈱日立製作所日立総合病院
	輸液ポンプ・シリンジの取り扱い	12/8	看護研修センター
新人責任者	新人責任者研修	12/9	
		1/17・2/14	
	新人実地担当者・教育担当者研修	1/29	



私を熱くさせてくれるもの

水府病院 酒井 泉美

今まで夢中になる趣味がなかった私が、今回のワールドカップをきっかけに、遠藤選手を好きになり、ガンバ大阪を応援するようになった。まだサポーター暦は浅いが、大阪へ何回か足を運んでいる。地元において新しい友達はなかなかできなかったが、応援をしていると、いろいろな人との出会いがあり、友達になることができた。アウェー戦で山形や京都へも行くが、それも観光旅行ができて楽しみの一つ。

最近職場の人に、「楽しそうでいいね。」とよく言われるようになった。自分も、本当に楽しくて、仕事を頑張れる力になっている。

いろいろな出会いに感謝して、これからもガンバ大阪を応援していきたいと思った。



なでしこフラダンスクラブでのひと時

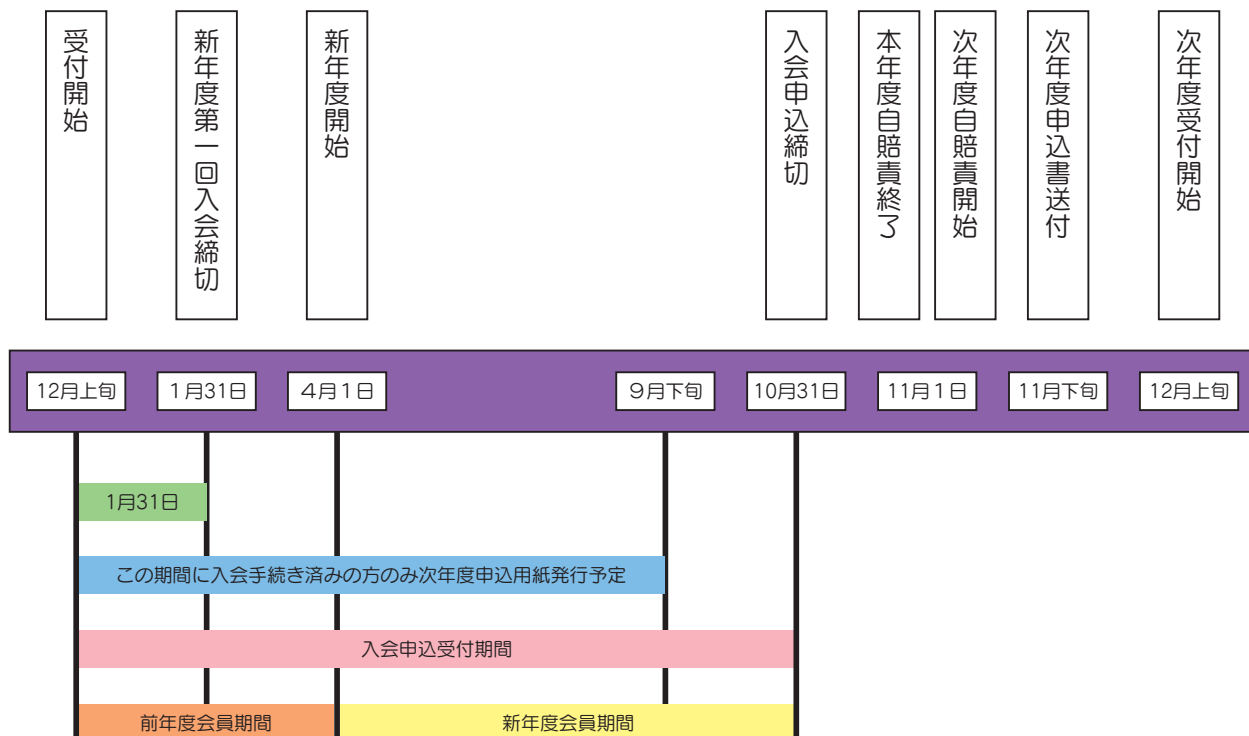
龍ヶ崎済生会病院 鈴木 久子

私の勤める龍ヶ崎済生会病院では様々なクラブが活動しています。私はその中のひとつ、親子で楽しめる「なでしこフラダンスクラブ」に所属しています。現在子供10人、大人7人が参加し、夜のリハビリ室をお借りして練習に励んでいます。練習は厳しい中にもアットホームな雰囲気、子供も大人も笑顔で元気にいい汗を流しています。

クラブ発足からもうじき4年。発表の場も増え、今年は院内、院外を合わせ8回のイベントに参加させていただきました。フラダンスは大地と自然からパワーをもらう踊りです。ハワイアン風の曲でゆったりと心地よく踊ることは心も体もリラックスできてストレス解消になります。楽しいフラダンスの時間をなでしこフラダンサーズのみんと過ごすことは私のリフレッシュタイムです。



平成 23 年度入会のご案内

茨城県看護協会入会スケジュール 

※会 費 10,000円

(内 訳) 日本看護協会会費 5,000円

茨城県看護協会会費 5,000円

※年度内に転居や改姓等により登録内容に変更が生じた場合には、所属の都道府県看護協会へ必ずお知らせ下さい

『ナースマン』大募集!

次回から「ナースマン」を掲載します。
まわりの「ナースマン」をご紹介します。

- ①看護師になった理由
- ②看護師になって心に残っている事
- ③リフレッシュ方法 など

ご投稿をお待ちしています。

編集後記

看護職が専門性を発揮するためには、看護を提供する人にだけ心配りをするのではなく、自分自身の健康にも目を向けていくことが大切です。「看護いばらき」が皆さんの健康の源になるよう、沢山の情報を配信していきたいと考えています。ご意見・ご感想をぜひお寄せください。

(広報委員 木村 洋美)